

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の
屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところ
には使用しないでください。

施工説明書 WPBリフォーム框

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください**。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより
事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。（施工完了後、使い方を説明してください）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。 ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。

注意



必ず守る

接着剤を使用する際は、換気を十分に
行う

守らないと、健康を害するおそれ
があります。



必ず守る

必ず指定の専用両面テープ(KERT48)、
接着剤(MLE050U)を使用する

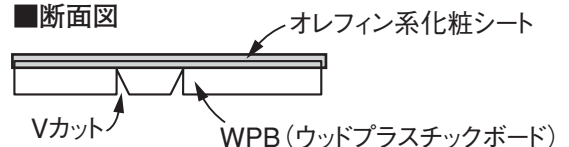
使用しないと、はがれ・突き上げなどの原因
となり、けがのおそれがあります。

製品仕様

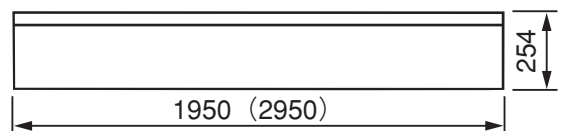
〔寸法単位：mm〕

品名	WPBリフォーム框
梱包枚数	框：1枚／ケース
寸法	6尺：長さ1950×幅254（天面90×見付け 面165.5）×厚さ1.5
	9尺：長さ2950×幅254（天面90×見付け 面165.5）×厚さ1.5

■断面図



■寸法図



※（ ）内寸法は9尺の場合

■施工に必要なもの

- ・両面テープ(KERT48)・接着剤(MLE050U)
幅48mm×35m巻き
- ・補助部材 目地用コーキング
ダークセピア色(MT8UD)・チェリー色(MT8CD)・バーチ色(MT8BD)
ナチュラルバーチ色(MT8SD)・クリアー色(MT8KD)
ミディアムオーク色(MT8MD)・ベージュホワイト色(MT8WH)

施工前の注意

- この商品は既存の木質床面・框面に直貼りする戸建て住宅の改装用框です。
施工可能な下地材は木質系框です。それ以外の下地に施工すると框の浮き、踏み鳴り、割れなどの原因となります。
- 体育館や講堂などの広い場所や土足でご使用になる場所への施工はお避けください。
- 既存框が腐朽していたり、はく離がある場合は下地材を貼り替えてください。
- 欠けたり折れたりしやすいので、取り扱いには十分ご注意ください。また、開封後、商品を立て掛けたりしないでください。欠けや曲がり防止のため、必ず平らな場所で保管してください。
- リフォーム框のVカット部の保護テープは施工後にはがしてください。

7 施工前の準備

1 既存框の確認および調整

既存框	現 状	対 策
平滑度 水平精度	・段差や凹凸がある ・起伏が1mに4mm以上ある	・パテ埋めやサンダーなどで削り、段差は0.5mm以内にする ・緩やかで1mに4mm以内にする
きしみ・ 踏み鳴り	・軽いきしみや踏み鳴りがある ・きしみや踏み鳴りがかなりある	・釘打ちなどで補修する ・既存框の貼り替えをする
框 表 面	・ワックスが塗られている ・油汚れがある	・市販のワックスクリーナーの説明書に従って、ワックスを除去する (ワックスが残っていると、接着不良の原因となります) ・サンダー、カンナなどで削る
下地材の乾燥	・濡れや湿りがある	・しっかり乾燥させる

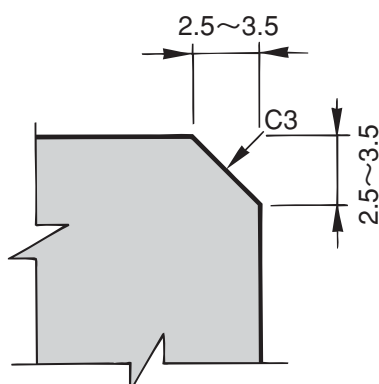
2 幅木の取り外し・下地材の清掃

既存の幅木を取り外し、下地の表面のほこり、異物などを除去する。
(ごみ・ほこり・異物などが残っていると、接着不良の原因となります)

3 既存框の面取り

[寸法単位：mm]

下地框の面取り部は C3 程度に調整する。



小さい場合	大きい場合
削る C3	接着 C3
カンナやサンドペーパーで C3にする	補修材を接着し C3にする

2 施工のしかた

[寸法単位：mm]

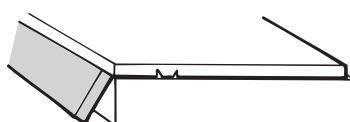
1 商品の切断

既存の框の寸法に合わせて、長さ、巾を切断する。

1 カッターナイフで切れ目を入れる。



2 切れ目を曲げて折る。



3 カンナ、サンドペーパーで面取りする。



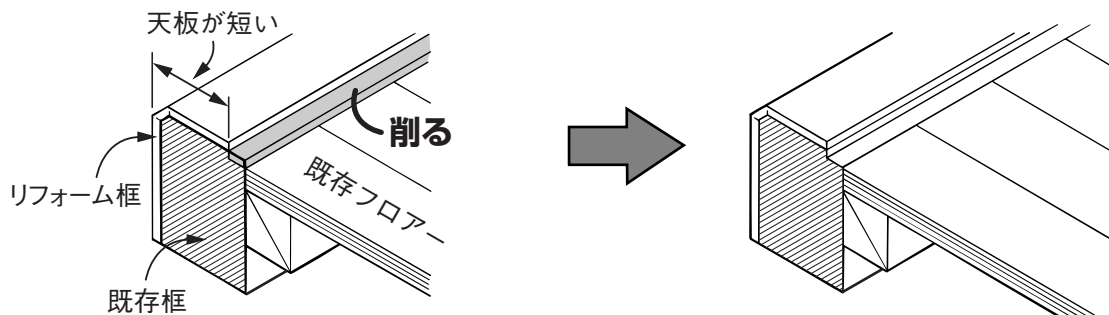
注意

切断時にVカット部のシートが切れないようにご注意ください。

2 施工のしかた

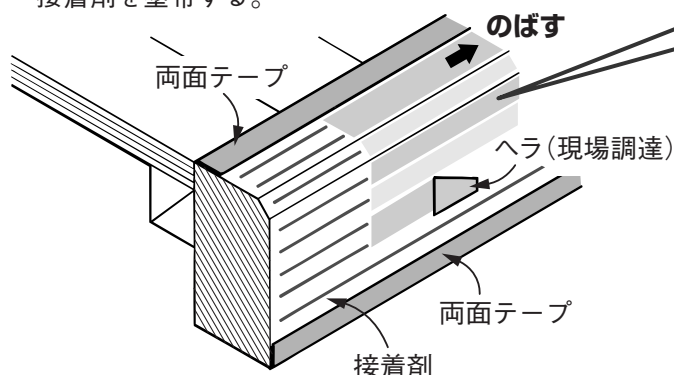
■天板が既存枠より短い場合

既存枠をノミなどで削り、フローア貼り付け面との段差をなくす。



2 両面テープの貼り付け・接着剤の塗布

- 1 既存枠に両面テープ(幅25mm程度)を貼り、接着剤を塗布する。

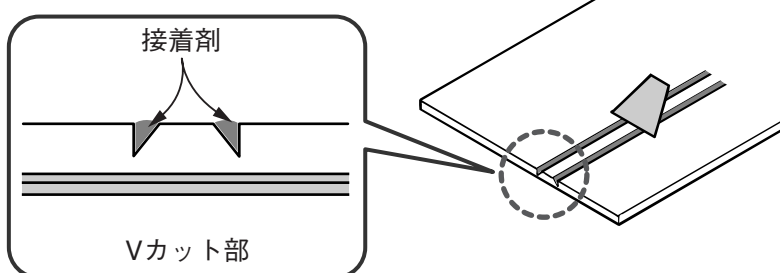


チューブタイプの場合、線状に塗布後、ヘラで**全面に均一に塗りのぼす**。
※両面テープには接着剤を塗布しないでください。

■接着剤塗布量

8~10g/本・m(目安: 接着剤幅3mm程度(吐出口φ2mm)、2本/100mm)

- 2 リフォーム枠の裏面Vカット部にも接着剤を塗布し、板状のヘラでVカット部に入れる。



注意

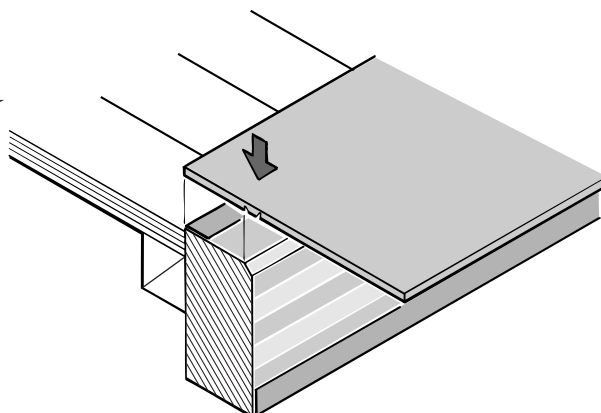
- 両面テープに接着剤が付くと接着不良の原因となりますのでご注意ください。
- 接着剤は塗り過ぎないようにご注意ください。

3 貼り付け施工

- 1 天面の貼り付け

天面を床材の端面に合わせて貼り付ける。

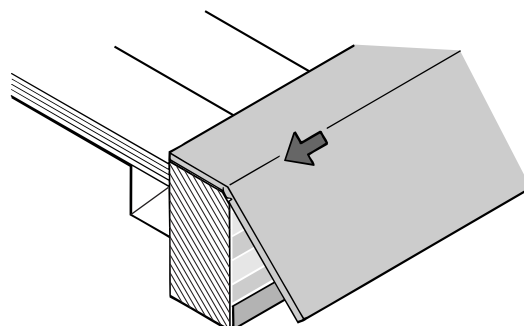
※余分な接着剤がテープに付かないようにしてください。



2 Vカット部の折り曲げ

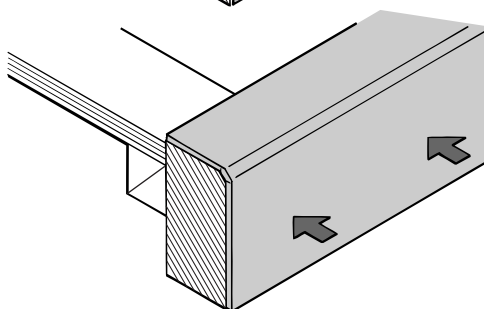
Vカット部を下地の框に合わせて貼り付ける。

※商品と既存の框部にすき間ができないように
接着剤を充填してください。



3 前面の貼り付け

前面を既存の框前面に留め付ける。



4 幅木の取り付け (幅木は別商品です)

幅木を壁にあて、釘で取り付ける。

※框には釘打ちしないでください。

5 仕上げ

貼り上がった床材の上から踏み込んで、テープと床材を十分密着させる。

※サッシ部などの結露水の付きやすい部位には、シリコン系のシーリング剤を塗布してください。

6 養生

施工後は傷や汚れを防ぐために、ビニールシート・発泡シートなどの養生シートを敷き込んでください。
さらに、その上に段ボールや合板を敷いて、十分に養生してください。

注意

- 養生テープは床用養生テープを使用してください。
ガムテープや両面テープを使用されますと、框表面のはがれや変色が起こる場合があります。
- 養生中に雨水やペンキなどが養生シートにかからないように注意してください。
しみ込みにより、框表面に汚染、膨れ等が生じることがあります。
- 養生シートは必ず框全体を覆ってください。
養生シートで覆われていない部分に変色する場合があります。

◆ 施工後の確認

■下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。

チェック項目	チェック
表面に汚れ（接着剤付着・ごみ・砂など）がないことを確認しましたか？	
床用養生テープを使用していますか？	
養生シートで框全体が覆われていますか？	